

# 市長ふれあい訪問 ⑧

市内で活躍している団体や地域に貢献している団体などを市長が訪問します

## 八潮市母子愛育会

市民の健康増進と明るい家庭づくりの推進のために活動されている「八潮市母子愛育会」を多田市長が訪問しました。



赤ちゃんとあそぼ

**市長** 活動をされて良かったと感じたことを教えてください。  
・お母さんたちの相談を受けたり、

「赤ちゃんとあそぼ」では、出前講座で依頼のあった小学校に向き、赤ちゃんの特徴やお世話の仕方、命の大切さを子どもたちに教えています。

「声かけ活動」では、地域に住む高齢者や子育て中のお母さんたちに声をかけ、体調について話を伺い、必要な方へ健診を勧めたり、育児の悩みを聞き、アドバイスをしています。

「声かけ活動」と「赤ちゃんとあそぼ」です。  
・「声かけ活動」では、地域に住む高齢者や子育て中のお母さんたちに声をかけ、体調について話を伺い、必要な方へ健診を勧めたり、育児の悩みを聞き、アドバイスをしています。



**市長** 愛育会のみなさんが、地域と行政をつなぐ重要な役割を果たして下さることに、大変感謝しています。今後もご活躍を期待しています。

地域の高齢者が訪問を心待ちにして下さるなど、頼りにされていると感じるときです。また、子どもとのふれあいは、子どもの喜ぶ顔を見たときにやりがいを感じます。

愛育会は、さまざまな地域の方が所属していますので、活動を通じて他の地域の方と知り合いになりますし、研修会などに参加して、勉強や参加者と交流ができることも魅力です。

**市長** 今後の活動について教えてください。  
・愛育会の活動を多くの方に知っていただけるように、メンバーを増やし、活動を広げていきたいと思っています。また、若い世代の方にも活動に参加してもらえようように、行政や町会・自治会と連携や協力をしながら活動を続けていきたいと思っています。

## 頼りになるのは地域の力



5月21日、八潮メセナで、町会自治会連合会・市による「町会自治会講演会」が開催され、約100人が参加しました。町会自治会への加入者が、年々減少していることから、町会自治会の役割や意義などについて、広く市民の皆さんに知っていただくために開催されたものです。講師の山梨学院大学副学長日高昭夫さんは、「町会自治会の社会的意義と現代的課題」をテーマに、町会自治会の成り立ちや役割、今後の課題などについて講演されました。

## 小さなゴミも回収 ゴミゼロ運動



5月26日、市内全域で、第24回ゴミゼロ運動が行われ、町会・自治会、小・中・高校生、各種団体など約18,000人が参加しました。参加者は、ガムや飴の包み紙など小さなごみも、ていねいに回収していました。  
**<回収結果>**  
資源ごみ（空き缶・空き瓶）877キログラム、可燃ごみ（紙類・プラスチック類など）6,500キログラム、不燃ごみ（金属など）1,673キログラム、その他1,500キログラム

## 災害協定を締結

災害時における燃料油の確保等に関する協定 締結式  
八潮市・三愛石油株式会社



5月15日、三愛石油株式会社と「災害時における燃料油の確保等に関する協定」を締結しました。市では、災害対策を強化するために、自治体や民間事業者などと災害協定の締結を積極的に進めています。この協定は、大規模な災害が発生した時に、災害従事車両や非常用発電機の燃料油を確保するため締結したものです。災害発生時には、市の要請に基づき、三愛石油株式会社が古新田地内で保有している燃料油を確保・供給されることになりました。

## やっぱり八潮の枝豆



5月26日、フレスポ八潮イベント広場で、やしお枝豆ヌーヴオー祭が開催され、約2,000人が来場しました。八潮の枝豆をブランド化することを目的に、農商工が連携し、広く市民に知っていただくために開催されたものです。枝豆の試食会、枝豆関連食品の販売や市内農産物・特産品推奨品の即売会などが行われ、新鮮な枝豆を食べながら、会場の雰囲気を楽しむ来場者でにぎわっていました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日（新聞休刊日を除く）に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内9カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、7月10日（水）です。